



<h1 style="margin: 0;">KEM</h1> <p style="margin: 0;">Kida Engineering Manufacture</p>	KEM-DDS-VFO Ver1.0
	kem-dds-vfo-v10
	2007/11/05 10:08:07
	Sheet: 1/1

外部接続端子(CN2)

+5V 出力 1	1	2	GND
送信機への VFO 出力	3	4	キー出力 (TX7 のキー入力へ接続) TTL 出力 Low=送信 Hi=受信状態
+5V 出力 2	5	6	GND
受信機への VFO 出力	7	8	ブレークイン出力 (RX7 への MUTE 出力)
UP 外部スイッチ (A 相)	9	10	GND
DOWN 外部スイッチ (B 相)	11	12	SEL 外部スイッチ
RIT 外部スイッチ	13	14	MOD 外部スイッチ
使用禁止	15	16	GND
使用禁止	17	18	縦振れキー入力
書込み端子 (通常未使用)	19	20	書込み端子 (通常未使用)
書込み端子 (通常未使用)	21	22	リセット端子
+5V 出力 3	23	24	GND
電源入力 DC8V~12V	25	26	GND (電源入力専用)

(注意) 基板に印刷された端子番号を、よく確認してから接続してください。

特に、電源(25、26)を間違くと壊れます。

+5V出力 (1, 5, 23)

3本ある、+5V出力から取り出す電流合計は、200mA以下で使ってください。それ以上取り出す場合は、3端子レギュレータ(IC1)に放熱板が必要です。熱抵抗の計算を行った上で、必要な大きさの放熱板を取り付けてください。

外部スイッチ(9,11,12,13,14)

外部スイッチ端子は、内部でプルアップされています。そのため、外部でプルアップの必要はありません。そのままスイッチを接続してください。

ブレークイン出力(MUTE) (8)

キー操作に連動して、送受信を切り替える信号を出力しています。送信から受信への切替時には、200mSのデイレイを入れています。

この出力は、TTLではありません。

受信時 0V (20mAの引き込み能力)

送信時 ハイ・インピーダンス (端子に加わる電圧は、5V以下で使用してください)

になっています。

KEM-RX7と接続するときは、KEM-RX7の音声出力を停止させる、ミュート信号になります。接続方法は、次項を見てください。

VFO出力 (3, 7)

出力は、約1Vp-pです。LPFは、10MHzに設定されています。

2つのVFO出力は、内部で接続されており、同じものが出力されています。